

# 軽防協ニュース速報（号外）

2002年8月21日  
軽種馬防疫協議会 事務局  
(JRA 馬事部防疫課)

## 米国でのウマインフルエンザ発生に関する最新情報

7月中旬からケンタッキー州中央部において、当歳馬に急性の上部気道疾患を認めた症例は、マックスウェル・グリュック・エクワイン・リサーチ・センター でインフルエンザ診断キットによりウマインフルエンザであると診断された。

これらの発症馬のうち数頭は最近の当歳馬セールに上場されていた馬か、あるいはそれらの馬と接触した馬であった。

一般的に臨床症状は軽度であり、発熱や発咳を認めた。

米国北東部のいくつかの競馬場で管理されている2歳馬において、同様の症状が報告されている。

その他の調査結果が明らかになれば、ウイルス型やワクチン接種の効果を含めたさらなる情報が報告されるだろう。

なお、本年6月にはコロラド州において、呼吸器症状を認めた馬からウマインフルエンザ2型（H3N8）ウイルスが分離されている（軽防協ニュース速報 No.2 にて報告済み）。